

## 平成 29 年度 研究計画書

Research Plan FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語日本文化教育センター・教授
氏名 Name	今井忍
専門分野 Academic Field	日本語学

### 平成 29 年度 研究計画 (ホームページで公開) Research Plan FY2017 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	日本語の形態法に関する認知言語学的研究				
研究計画 (400 字～500 字で記入すること。) Research Plan (Approximately 100 Words) 29 年度は、28 年度に行った除去動詞の研究について、日本語と英語の対照という観点から捉え直し、両言語にわたる一般化を行いたいと考えている。除去動詞は Levin and Rappaport Hovav (1991)を初めとして、英語に関する研究が中心であり、日本語については影山 (1996)、荻野 (2000)などで多少の言及があるというのが現状である。28 年度の研究では、機械により構文解析された大規模コーパスデータを使用することで、除去動詞がヲ格にどのような名詞を取るかをある程度明らかにすることができたが、同様の方法を英語コーパスについて、また、日英平行コーパスに適用することで、両言語の違いを明らかにしていきたい。日本語の漢語・外来語と和語複合語の共通性については、Onomasiological approach による分析の可能性をさらに検討していく。特に、9 月に開催される Societas Linguistica Europaea におけるセッション”The Interaction between Borrowing and Word Formation”において情報を収集したいと考えている。					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	日本語学	英語学	認知科学		
キーワード Keywords*2					